

平成27年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小川晃
全体計画						経費区分		-		内線	3622
事務事業名	4303 教室等開催事業										
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課										
施 策	04012000 生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	050104 労働費・労働諸費・勤労青少年ホーム創造の家費									
	事業	970000 教室等開催事業									
事業目的						事業概要・効果					
須坂市体育協会を指定管理者とし管理を委託する。勤労青少年の個性と可能性を尊重し、充実した余暇活動を支援するため、多様化するニーズにあった各種教室を開催し、学習の機会や仲間づくり・交流の場を提供する。また、クラブ活動の育成及び指導に努める。						過去の応募状況やアンケート結果を検討する中で、勤労青少年から要望の多い教室を開催し、スポーツや趣味、教養等の学習活動を提供することにより、勤労青少年の福祉の増進が図られた。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
教室開催及びサークル育成等	教室開催及びサークル育成等
平成24年度 実績	平成25年度 実績
教室開催及びサークル育成等	教室開催及びサークル育成等
平成26年度 実績	平成27年度 予定
教室開催及びサークル育成等	

指標名 勤労青少年ホーム創造の家教室受講者数およびサークル参加者数						
算式						単位
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	4,000	4,000	4,000	4,000	
	実績	3,905	3,849	3,735	3,482	
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		1,163	0
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,163	0
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.9	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	2,452.5	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,452.5	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		3,615.5	0.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	887	講師謝礼887千
11節 需用費	244	消耗品57千、食糧費6千、印刷製本費181千
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	32	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	勤労青少年の福祉増進のため、学習の機会や仲間づくり・交流の場を提供した。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	利用者のアンケート結果等を踏まえ要望の多い内容も取り入れ、教室の受講者はほぼ前年並で推移した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	平成27年度より指定管理者による運営に移行することを決定し準備を進めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
次年度からの指定管理者による運営への移行をスムーズに行ない、利用者のニーズに対応した管理運営に努める。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>体育協会としての特色も出しながら、勤労青少年の福利厚生充実、仲間づくりに資する事業実施を支援する。</p>		<p>施設の役割を果たしつつ利用者の拡大や新たな事業展開を指定管理者に期待する。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	